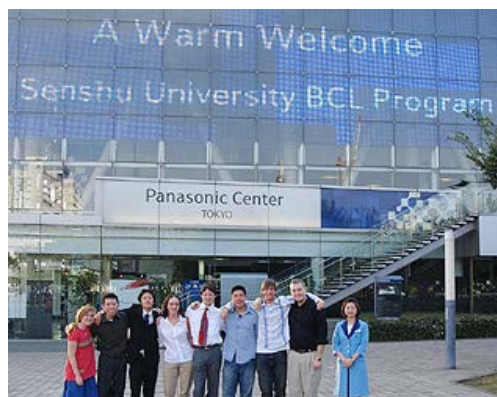


「秋期日本語・日本事情プログラムおよび日本理解プログラム」開講中

40人が参加

日本語と日本文化を学ぶ「秋期日本語・日本事情プログラムおよび日本理解プログラム(BCLプログラム)」が9月21日からスタートした。ミネソタ大学、アイルランドのダブリン大学など国際交流協定校の学生を対象としたBCLプログラム参加者30人と特別聴講生や一般対象の10人が日本語・日本事情プログラムに参加。12月15日まで12週間にわたって勉学、研修に励んでいる。

BCLプログラム参加留学生は、午前中に日本語を学び、午後は日本の文化・歴史、ビジネスについての専門講義を英語で受講。プログラムの一環として大手企業の見学や箱根へのフィールドトリップ、小学校訪問、ホームビジットなども盛り込まれ、日本をさまざまな角度から学ぶ。9月28日には東京・有明のパナソニックセンターを訪問。最新の家電機器などの展示を見学した。



▲パナソニックセンターで「A Warm Welcome BCL Program」と書かれた電光掲示板をバックにする留学生



▲ウエルカムパーティーで

<中期留学プログラム(後期)>

初の中国語コースに4人

07年度中期留学プログラム(英語コース、中国語コース)の参加者が以下のとおり決まり、参加者20人が各留学先で勉学に励んでいる。このうち中国語コースは今回初。4人が上海大学で学んでいる。



▲中期留学プログラム参加のみなさん

中期留学生(後期)一覧

(敬称略)

- | | |
|-----------------|------------|
| ●ネブラスカ大学 リンカーン校 | ●ウーロンゴン大学 |
| 加藤 晃大(経済2) | 鈴木 克奈(経済3) |
| 小川 真依(法 2) | 高橋 拓間(経営1) |
| 渋谷 悠乃(経営2) | 大石 和明(文 1) |
| 横尾 紘一(商 1) | 中溝亜矢実(") |
| 下山田 愛(文 2) | 黒澤 萌(") |
| 神谷 恵理(") | 千頭 洋介(") |
| 小島 萌(") | 高橋 篤史(") |
| 小林 美央(文 1) | ●上海大学 |
| 藤堂 麻乃(") | 遠藤 文子(法 2) |
| | 津田 豪敏(法 1) |
| | 王 俊星(商 2) |
| | 小林 知博(文 2) |

日本文学専攻大学院生がノベルゲーム

「狭衣物語」を現代的に再現

日本文学専攻の大学院生が、ノベルゲームを完成させた。

題材は、平安後期に人気を集めた古典『狭衣(さごろも)物語』。華やかな文体、ロマンあふれる人物構成や四季の自然描写が、ゲームの中で鮮やかに再現されている。シナリオ、画像担当の博士後期課程4年次の井黒佳穂子さんは「平安後期は、語り手である女房(女官)の手で『源氏物語』や『伊勢物語』などを素材に物語が自在に作り上げられた。その創造の場を現代的に再現したかった」と話す。

同ゲームは、文学部・日本文学文化専攻が一般公開中の資料コンテンツ「専修大学日本文学文化ネットアーカイブ」番外編。2003年から4年間、板坂則子教授らが展開したネット授業(文部科学省「サイバーキャンパス整備事業」採用)では、学部生によるネット授業研究会をスタート、授業コンテンツ類作りに院生たちが技術指導をした。そこで培われた技術を駆使しゲーム制作に挑戦。特に、物語の展開を丁寧に描いたと言う。

同メンバーは、板坂ゼミが脚本などを担当し話題をまいたオペラ「八犬伝」(06年1月上演)のポスター制作や歌舞伎の脚本にも挑戦。現在、ポップカルチャーの学術的グループ研究を進行中。「あっと驚く論文集を目指します」と語る。



▲『狭衣物語』CDと手にする井黒さん

綿引さん(ネット情報2)難関試験に合格

経済産業省が実施する情報処理技術者の国家試験「テクニカルエンジニア(情報セキュリティ)試験」に綿引啓太さん(ネット情報2=写真)が挑戦し、見事合格した。

この試験は情報システムの構築、運用に際し求められる技能の中で、特にセキュリティ機能を計画・設計・構築する力が試されるテストで、今年度の合格率が約12%(合格者1788人のうち大学生は18人)という難関。

綿引さんは、昨年度は「テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験」に合格し、自己啓発奨学生にも選ばれた(3月号既報)。本学情報科学センターが開講している情報処理技術者試験対策講座を受講しているほか、「通学に片道2時間かかるのですが、それが貴重な勉強時間でした」と、何度も読み込み、付箋・罫線でいっぱいになったテキストを見せてくれた。「資格は学習の成果を図る一つの手段で、目標に向け勉強することが大切だと考えています。今後も力試しの場として、コンスタントに試験に挑戦していきたい」と話した。

また「将来は教育に携わる仕事をしたい」と、教職課程も履修。「進歩の早い『情報』という分野で、子供たちが授業中に最先端の技術に触れることができるようなソフトを作りたいです」と目標を語ってくれた。

たまたま子育てまつり たまぐで子育て☆笑顔で応援 心理教育相談室が協力

9月23日、川崎市多摩市民館で開かれた子育て支援事業「第5回たまたま子育てまつり」に本学の心理教育相談室も参加。子育てのさまざまな悩みの相談に応じたり、子どもの簡単な発達検査を行うなど、「子育て中の親のリフレッシュ」に協力した＝写真。

4回目の参加となる今回は、波田野由美さん、茂木久美子さん、尾辻俊昭さんの3人の臨床心理士が個別相談に応じ、その間、大学院文学研究科修士課程心理学専攻の院生15人、文学部心理学科の学生5人がオリジナル遊具を使って子供たちと触れ合った。

また、雑誌や広告から切り抜いた絵柄を自由に画用紙に張り付けて心を表現するコラージュ体験も行われ、親子が一緒になって作品作りにチャレンジした。



ネットワーク情報学部コンテンツデザインコースの有志15人

多摩区の親子と学生ボランティアによる交流会

生田緑地で新しい発見！？

日本女子大に協力

9月29日、「多摩区の親子と学生ボランティアによる交流会 生田緑地で新しい発見！？」が、生田緑地の青少年科学館を中心に行われ、本学の学生も子供たちが自然と触れ合い、楽しく学ぶためのサポートに携わった。

日本女子大学人間社会学部が多摩区と連携して行っている「学校教育ボランティアサポート事業」の一環として企画されたもので、「多摩区・3大学連携事業」に参加している本学にも協力の依頼があり、ネットワーク情報学部・コンテンツデザインコースに学ぶ学生有志15人が参加したもの。「コンテンツデザイン基礎演習」の授業で製作し、川崎市立登戸小学校でプレゼンテーションした理科の教材(関連記事5月号・8月号に掲載)のうち5作品を持ち込み、「生田緑地……昔は海？」のプログラムを展開。地層・化石を身近に学ぶ手助けをした。



埼玉県人会

朝霞市民まつりで「よさこい」

8月3日から5日まで開かれた第24回朝霞市民まつり「彩夏祭」に埼玉県人会が今年も参加。第12代目「よさこい団長」の香田裕美さん（法3）を中心に練習を重ねた55人が、「関八州よさこいフェスタ」で若さとガッツあふれる熱い演舞を披露した＝写真＝（詳細は『育友』最新号で）

